

CADPACCREATOR 2D Ver.23.0

新機能・追加機能 概要

■汎用機能

1. 図面タイトルバー.....	2
2. エクスプローラ拡張.....	2
3. バインダー ポップアップメニュー.....	2
4. ニュートラルモード.....	3
5. 新規（名変）保存、上書更新.....	3
6. 出図 プレビュー.....	3
7. 連続出力 IMGPrinter.....	4
8. 連続出力 図面選択.....	4
9. DXF・DWG 入出力 弧長寸法.....	4
10. DXF・DWG 入出力 注釈型.....	4
11. DXF・DWG 入出力 ブロック画層.....	5
12. DXF・DWG 入力 OLE オブジェクト.....	5
13. DXF・DWG 出力 ユーザー線種定義.....	6
14. PDF 入力.....	6
15. 外部出力 ファイル選択ダイアログボックス.....	7
16. 補助線.....	8
17. 丸面 エラーメッセージ.....	8
18. 丸面 線スタイル.....	8
19. 平行寸法.....	9
20. 角度寸法.....	9
21. 接頭語.....	9
22. 寸法変更.....	10
23. 寸法一括更新.....	10
24. 複写、移動.....	10
25. 変形.....	11
26. グループ操作.....	11
27. ツールビュー 図面属性.....	11
28. ツールビュー 位置変更.....	12
29. レイヤー操作（アイコンツールバー）.....	12
30. ファイル関連付け.....	12

■新世代機能

31. 図面選択ダイアログボックス.....	13
32. 部品図作成 要素転送.....	13
33. 部品図作成 図枠設定.....	13
34. 部品図作成 面図位置調整.....	13
35. 組付.....	14
36. 要素転送.....	14
37. 面図重ね合わせ.....	14
38. 穴チェック 検出.....	15
39. 穴チェック 結果リスト.....	15

■機械オプション

40. 深ざぐり.....	16
---------------	----

■その他のオプション

41. ネットワークライセンス.....	16
42. 2D3D インターフェース.....	16
43. JIS 機械パーツ.....	16
44. SOLIDWORKS インターフェース.....	16

Ver.23.0 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.23.0 で追加・拡張された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.22.0 からの差分です)

汎用機能

1. 図面タイトルバー

最小化した状態のウィンドウにマウスカーソルを合わせると、タイトルバーの情報がツールチップで表示されるようになりました。

[基本操作 1/ 図面タイトルバー]



2. エクスプローラ拡張

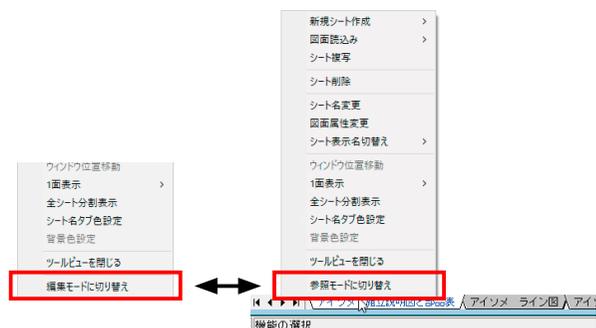
サムネイルとプレビューに表示される画像のサイズを拡大し、高解像度モニタに対応しました。

[基本操作 1/ エクスプローラ拡張]

3. バインダー ポップアップメニュー

図面ファイルの「編集モード⇔参照モード」の切り替えを、シートタブをマウス右クリックで表示されるポップアップメニューからできるようになりました。

[基本操作 1/ バインダーについて]

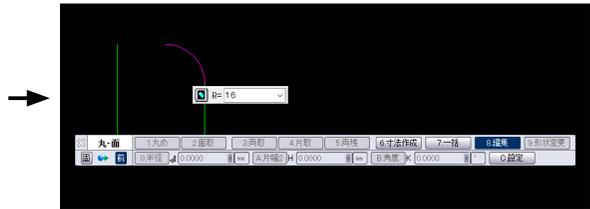


4. ニュートラルモード

ニュートラルモードから編集コマンドを起動したとき、要素の選択状態を維持するようになりました。

[基本操作 2/ ニュートラルモードの編集コマンド起動]

例．丸面の場合



丸面が選択状態、かつ [8. 編集] がオンの状態で起動

※寸法、バルーン、注釈、JIS 機械パーツ (オプション) は従来通り、選択が解除されます。

5. 新規 (名変) 保存
上書更新

ネットワーク上にあるファイルをネットワークドライブへ直接保存するのではなく、一度ローカルに保存後、ネットワークドライブに移動する機能に変更しました。

[ファイル / 上書保存]

[ファイル / 新規 (名変) 保存]

6. 出図
プレビュー

プレビュー画面の楕円・楕円弧の表示精度が向上しました。

従来と比べ、より滑らかに曲線を表示します。

[ファイル / 出図]



従来



Ver.23.0

7. 連続出力 IMGPrinter

ドライブに IMGPrinter を選択して連続出力したとき、ファイル名に出図コマンドの「環境設定 - その他 - その他 - ドキュメント名」の設定を適用できるようになりました。

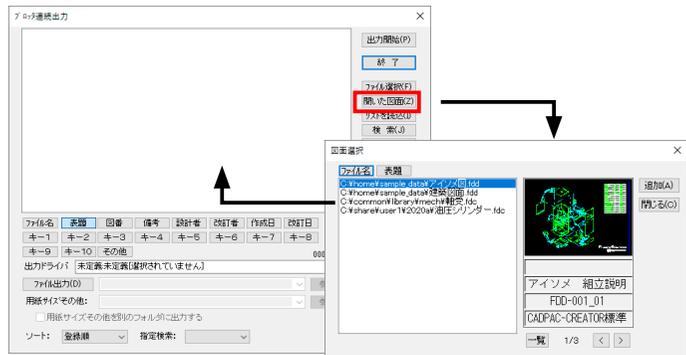
[ファイル / IMGPrinter - PDF・TIFF・XCDF 出力]
[ファイル / 連続出力]



8. 連続出力 図面選択

現在開いている図面を一覧で表示し、出力ファイルリストに追加できるようになりました。

[ファイル / 連続出力]



9. DXF・DWG 入出力 弧長寸法

入力時、AutoCAD の弧長寸法で、弧長シンボルが [寸法値の前に配置] にセットされたタイプを、CADPAC の寸法値の前に小円弧が配置された弧長寸法として変換されるようになりました。

また出力時には、CADPAC の寸法値の前に小円弧が配置された弧長寸法を、AutoCAD の弧長寸法で、弧長シンボルが [寸法値の前に配置] にセットされたタイプとして変換されるようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

10. DXF・DWG 入出力 注釈型

入力時、AutoCAD の平行寸法の注釈型表記を CADPAC の注釈型 (引出型) として変換されるようになりました。

また出力時には、CADPAC の平行寸法の注釈型 (引出型) が AutoCAD の注釈型表記として変換されるようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

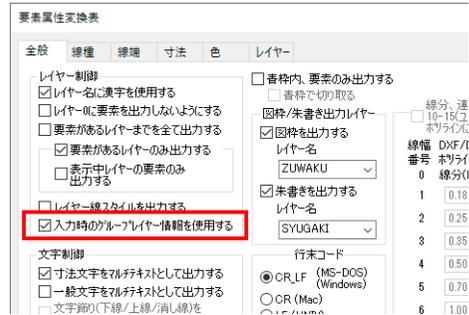
11. DXF・DWG 入出力 ブロック画層

入力時、ブロックのレイヤー No. をグループのプロパティとして自動で登録するようになりました。

それにより、出力時に、グループのプロパティからレイヤー No. を取得してブロック画層に反映できるようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



12. DXF・DWG 入力 OLE オブジェクト

OLE オブジェクトを貼付データとして入力できるようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]



13. DXF・DWG 出力 線種定義ファイル

AutoCAD の線種定義ファイルを直接読み込むことにより、ユーザー定義線種の対応、及び、標準対応している線種の線種情報（ピッチ等）を個別に変えられるようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

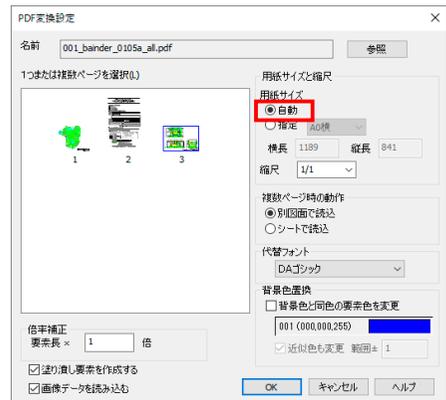


※対応する線種は、ドット、スペース、ダッシュのパターンから構成されたシンプルな線種となります。文字、シェイプ図形を使用した特殊な線種は対応していません。

14. PDF 入力

複数ページの PDF を読み込むとき、用紙サイズを各ページ毎に取得できるようにしました。

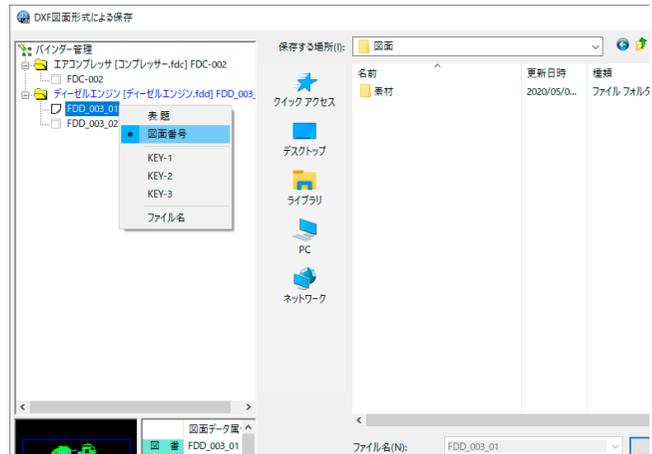
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / PDF 入力]



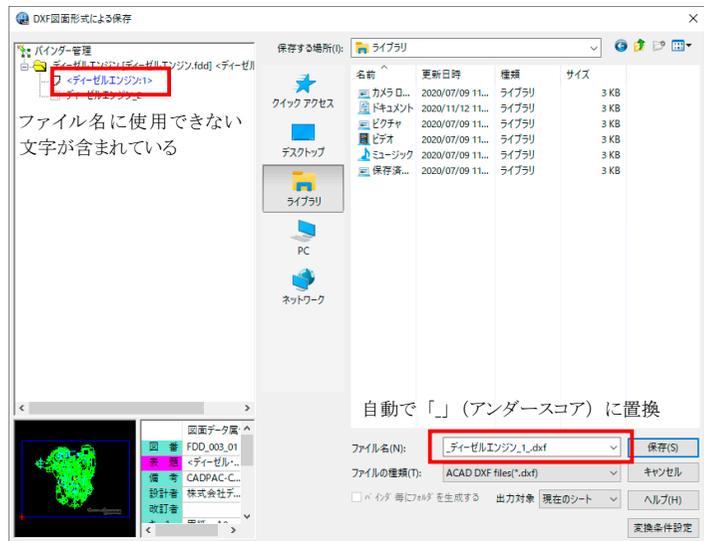
15. 外部出力

ファイル選択ダイアログ
※ MCAD 出力は除く

バインダ表示欄の図面名称（シート名）設定が保持されるようになりました。



出力するファイルの名称に、ファイル名として使用できない文字が含まれていた場合、「_」（アンダースコア）へ自動で置き換えて出力するようになりました。

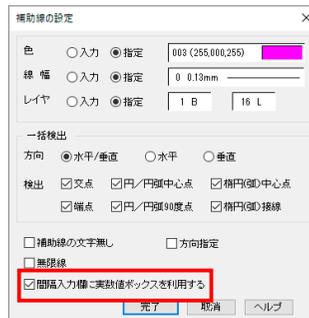


出力対象が「複数シート」のとき、出力するファイル名に同名のファイルが複数存在する場合は、ファイル名の末尾に連番が付加されるようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / 外部出力共通ダイアログボックス]

16. 補助線

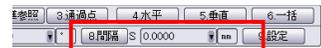
CSB[8. 間隔]の入力で実数値ボックスを利用できるようになりました。
[作図 / 直線 / 補助線]



設定オフ (従来)



設定オン



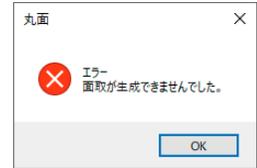
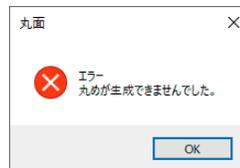
※設定オンの時、複数間隔入力（カンマ区切りでの指定）はできません。

17. 丸面

エラーメッセージ

指定条件により丸め・面取が生成できないとき、エラーメッセージが表示されるようになりました。

[作図 / 角処理 / 丸面]

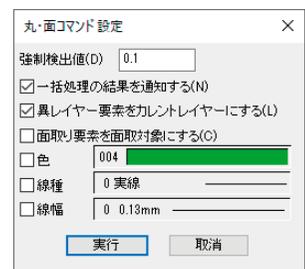


18. 丸面

線スタイル

丸め・面取要素に対して、線スタイルを指定できるようになりました。

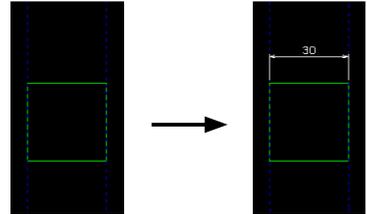
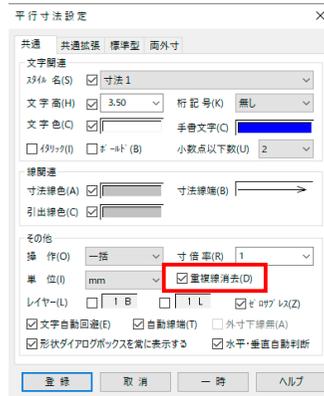
[作図 / 角処理 / 丸面]



19. 平行寸法

「重複線消去」設定が有効のとき、補助線と引出線が重なる場合は消去の対象外となりました。

[作図 / 寸法 / 平行寸法]

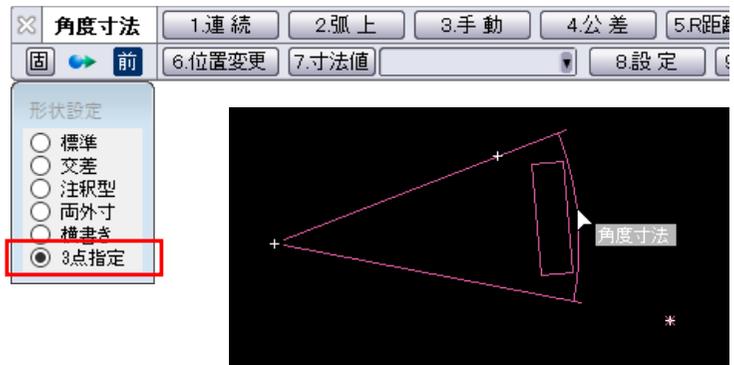


20. 角度寸法

形状設定に「3点指定」を追加しました。

3点の指定で角度寸法を作図できます。

[作図 / 寸法 / 角度寸法]



21. 接頭語

CSB のレイアウトを調整しました。

また [9. 非比例寸法] のコマンド名を [9. 非比例] に変更しました。

[作図 / 寸法 / 接頭語]

従 来



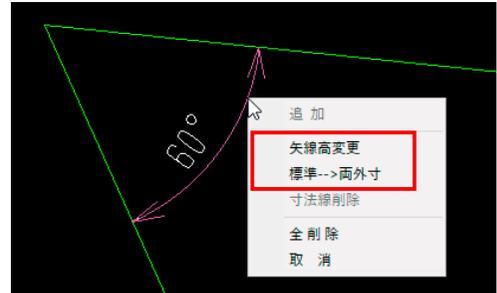
Ver.23.0



22. 寸法変更

角度寸法の矢線選択時のポップアップメニューから矢線高変更および両外寸への変更ができるようになりました。(但し両外寸変更は寸法形状が標準または交差の場合に限ります。)

[作図 / 寸法 / 寸法変更]



23. 寸法一括更新

基準寸法に対応しました。

[作図 / 寸法 / 寸法一括更新]



24. 複写、移動

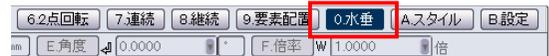
複写もしくは移動先の方角を、水平または垂直に固定できる「水垂」ボタンを追加しました。

従来は「X増」または「Y増」の値を0に指定する必要がありましたが、本機能により、ボタン一つで切り替える事ができるようになりました。

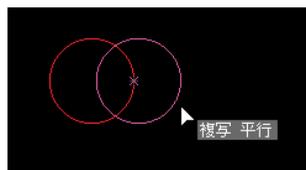
[編集 / 複写 / 複写]

[編集 / 移動 / 移動]

複写



移動



マウスマウスの移動方向によって、ラバーバンドが水平・垂直方向に表示されます。

25. 変形

[7. 円]に「円サイズ変更」を追加しました。
変形の移動量にあわせて円もしくは円弧の径を変更します。
[編集 / 変更 / 変形]

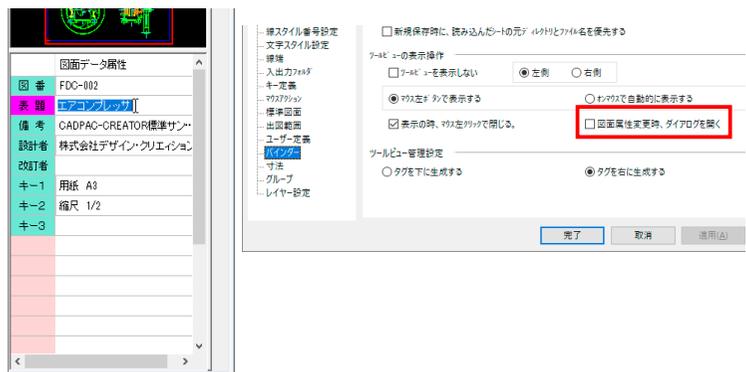


26. グループ操作

階層ツリーの表示順を変更できるようになりました。
指定できる条件は、「登録順 / 名前順」および「昇順 / 降順」です。
[構成 / グループ / グループ操作]

27. ツールビュー
図面属性

ツールビューから直接図面属性を編集できるようになりました。
[表示 / ツールビュー]
[補助 / システム設定 / バインダー]



28. ツールビュー 位置変更

ツールビューの位置を変更するとき、確認ダイアログボックスが表示されるようになりました。

[表示 / ツールビュー]

[補助 / システム設定 / バインダー]



29. レイヤー操作 (アイコンツールバー)

レイヤー操作設定ダイアログボックスからレイヤー名称を編集するとき、[F2] キーで文字入力に移行できるようになりました。

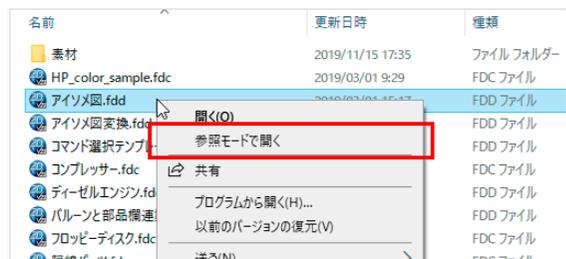
[編集 / レイヤー操作 / レイヤー操作 (アイコンツールバー)]



30. ファイル関連付け

Windows のエクスプローラから CADPAC 系図面 (fda,fdb,fdc, added, fde ファイル) を開くとき、コンテキストメニューから参照モードを指定できるようになりました。

[ヘルプ / ファイル関連付け]



新世代機能

31. 図面選択ダイアログボックス

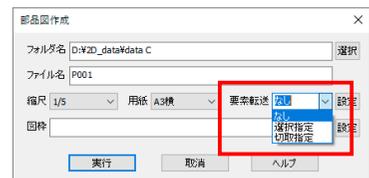
サムネイル表示で面図枠と基準線を表示しないようになりました。
 [基本操作 1/ エクスプローラ拡張]
 [ファイル / 開く]



※ 一度本バージョン以降の CADPAC で図面を保存する必要があります。
 ※ 「部品保存」コマンドは対象外です。

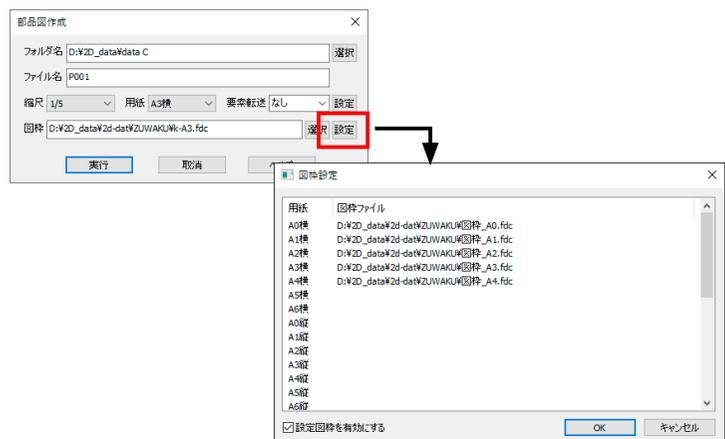
32. 部品図作成要素転送

部品図作成と同時に要素を転送できるようになりました。転送方法は選択転送と切取転送から選択できます。
 [新世代 / 部品 / 部品図作成]



33. 部品図作成図枠設定

用紙のサイズに応じて、あらかじめ設定した図枠を呼び出せるようになりました。
 [新世代 / 部品 / 部品図作成]



34. 部品図作成 面図位置調整

部品図作成の時の配置時に、面図の位置調整と、レイヤーパネルによる縮尺や用紙サイズの変更ができるようになりました。
[新世代 / 部品 / 部品図作成]

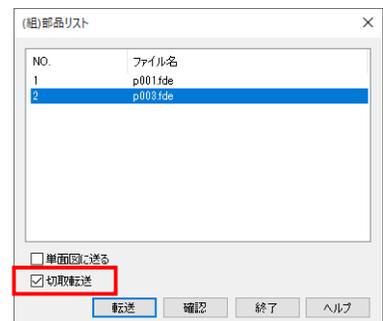
35. 組付

[5. 部品選択] を追加しました。CSB からファイル選択ダイアログを開き、組付する部品を再選択できます。
[新世代 / 部品 / 組付]



36. 要素転送

枠選択で切り取った要素を転送できるようになりました。
[新世代 / 編集 / 要素転送]



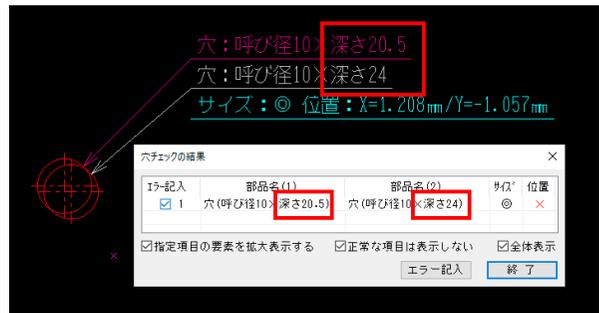
37. 面図重ね合わせ

重ね合わせる面図の水平 / 垂直方向への反転ができるようになりました。
[新世代 / 検図 / 面図重ね合わせ]



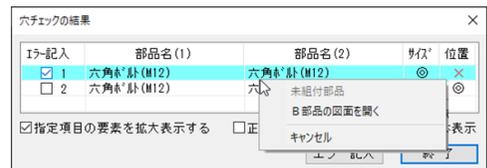
38. 穴チェック 検出

組付コマンドで作成された組付図上の穴チェックで、新たに「長さ（深さ）」を取得できるようにしました。
[新世代 / 検図 / 穴チェック]



39. 穴チェック 結果リスト

組付コマンドで作成された組付図上でエラーがあったとき、結果リストから部品図を開くことができるようになりました。
[新世代 / 検図 / 穴チェック]



機械オプション

40. 深ざぐり

深ざぐり形状のテーブル設定をパターン登録し、任意に呼び出せるようになりました。

[専用 / 機械定形 3/ 深ざぐり]

呼び	穴径		ざぐり径		ざぐり深さ	
	現在値	設定値	現在値	設定値	現在値	設定値
1.6	1.8	1.8	3.5	3.5	1.9	1.9
2	2.4	2.4	4.4	4.4	2.3	2.3
2.5	2.9	2.9	5.5	5.5	2.8	2.8
3	3.4	3.4	6.5	6.5	3.3	3.3
4	4.5	4.5	8	8	4.4	4.4
5	5.5	5.5	9.5	9.5	5.4	5.4
6	6.6	6.6	11	11	6.5	6.5
8	9	9	14	14	8.6	8.6
10	11	11	17.5	17.5	10.8	10.8

パターン登録 追加 削除 実行 取消 初期値

ネットワークライセンス

41. Winsock 版

サーバとの接続が切断されたとき、再接続を試行するようになりました。

[ネットワークライセンス / ネットワークライセンスの使用方法]

2D3D インターフェース

42. 図面転送 (3D → 2D)

弧長寸法に対応しました。

[2D・3D Interface/ 機能説明・操作]

その他のオプション

43. JIS 機械パーツ 部品ライブラリ

Ver.23.0 用の最新部品ライブラリに更新されました。部品点数は約 71 万点です。保守期間中は PC に部品データをインストールせずに、オンラインでもご利用いただけます。

44. SOLIDWORKS インターフェース

SOLIDWORKS2021 に対応しました。